

JaSST2021東京チュートリアル
価値につながる要件・仕様からテストを考える
<事前配布資料>

- 【資料1】 既存図書館システムの概要
- 【資料2】 既存図書館システムのユースケースっぽいもの
- 【資料3】 よくありがちなRFP (Request For Proposal)
- 【資料4】 事前ワーク（実施は任意）

当資料の説明

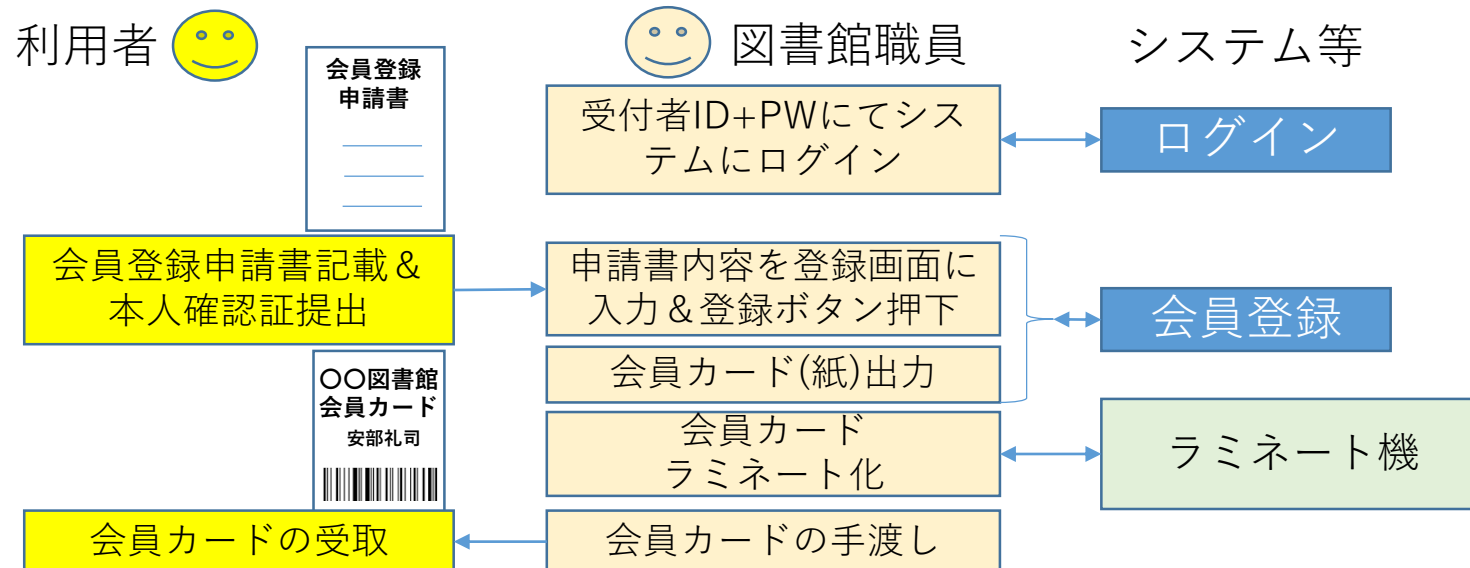
- この資料は、JaSST2021東京チュートリアルで取り上げる「既存図書館システム」の概要とRFP（新システム提案依頼書）、および受講者のみなさんがチュートリアルの内容をより理解するために、可能であれば事前に実施いただきたいワークを掲載したものです。
- 【資料1】 【資料2】 についてはチュートリアルでも簡単に説明しますが、可能な限り事前に目を通し、どのようなシステムなのかを理解しておいてください。
- 【資料3】の確認と【資料4】事前ワークの実施は任意ですが、事前に実施しておくことでチュートリアルの内容がより深く実感できると思います。

【資料1】 既存図書館システムの概要

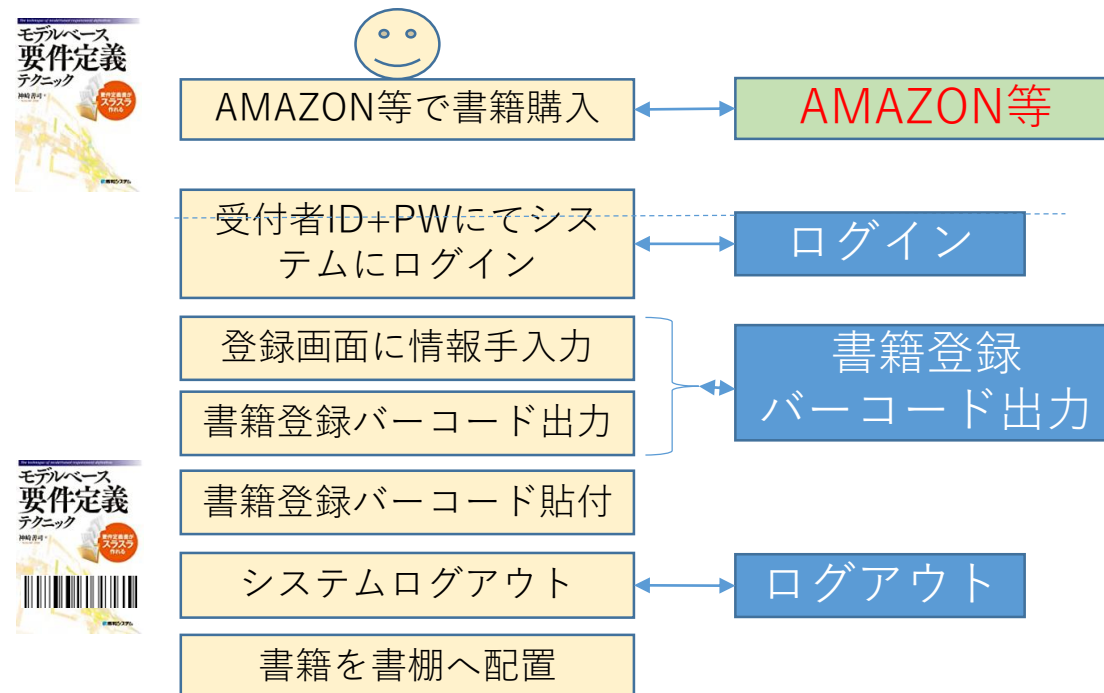
- 図書館システムでは、事前に会員登録にて会員カードを発行し、会員カードを読み込むことで会員に対して書籍の貸出、返却処理等を行う。
- 会員カードは、既存システムにてカード台紙を出力し、それを別途ラミネート機器にてラミネートして渡される。
- 図書の登録、解除は、職員が自らのアカウントでシステムにログインしたうえですべて手入力で行う。
- 貸出時には、会員登録済会員カードの持参+職員が自らのアカウントでシステムにログインしたうえで光学読み取り装置で会員カード、書籍のバーコードを読み取って対応する。
- 返却は、受付担当者が自らのアカウントでシステムにログインしたうえで光学読み取り装置で書籍のバーコードを読み取って対応する。（会員カードなしでOK）
- Web登録や図書情報参照等の外部からのアクセスの仕組みはない。よってどのよな図書があるのか、借りたい図書が貸出可能なのは、図書館に行かないとわからない。

【資料2】 既存図書館システムの ユースケースっぽいもの

会員登録
会員カード発行

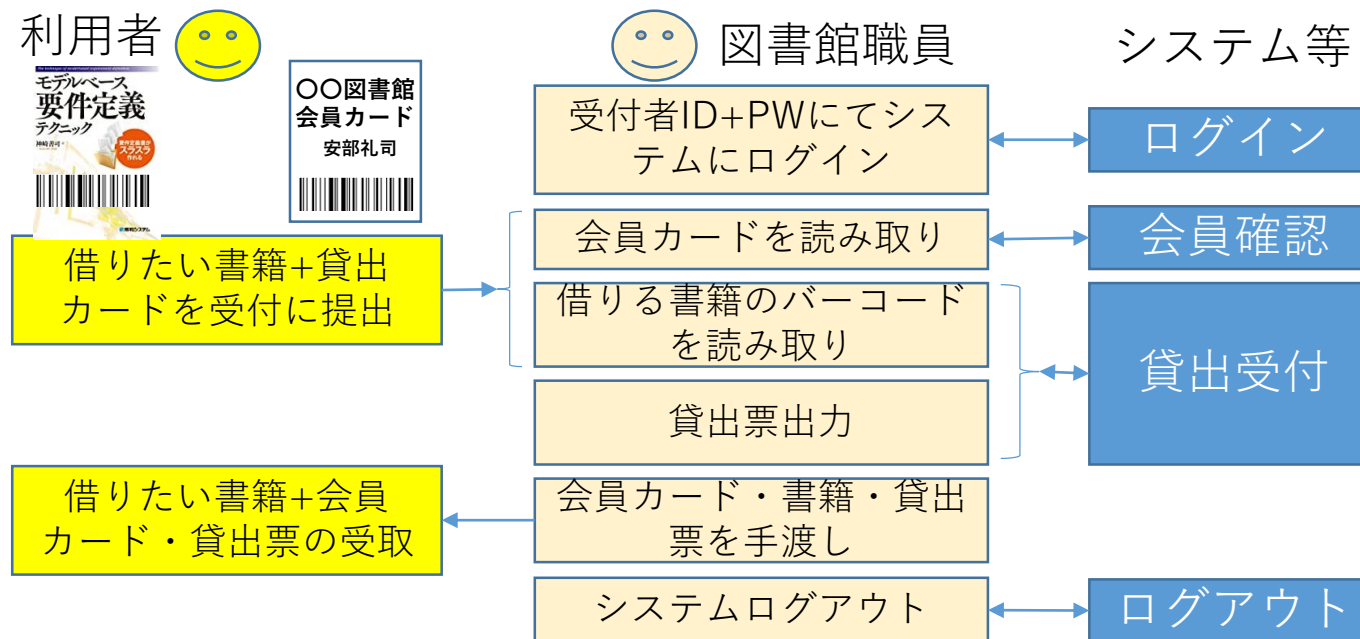


書籍購入～
登録

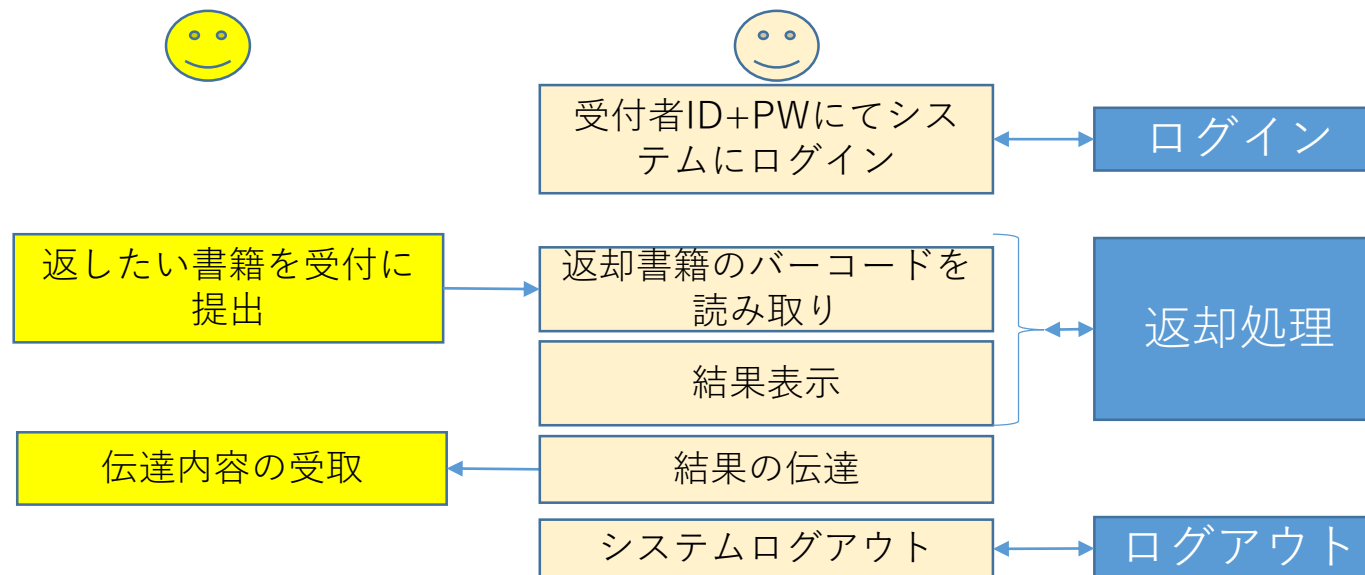


【資料2】 既存図書館システムの ユースケースっぽいもの

書籍の貸出



書籍の返却



【資料3】 よくありがちなRFP (発行： Z市図書館)

1.本書の目的

この提案依頼書（Request For Proposal：以下、RFPとする）は、Z市図書館システムによる図書館運営の効果・効率改善の提案を依頼するためのものである。

2.背景

現在のZ市図書館システムは、1998年に初度リリースされた。

当時としては画期的なバーコードリーダーを活用した受付機能や会員カード発行機能などを備えているが、これら基本機能・使用機器は変えずにこれまで多くの改修を重ねてきた。

20数年が経過して、高齢者の増加等の人口動態やIT技術動向と市民浸透度、および地域における図書館の位置づけが変化している。

3.現状の課題・問題

現在のZ市図書館システムには、現在下記のような問題点が存在する。

□使用機器や機能の陳腐化が目立つ。

→近年のIT技術動向（最新の読み取り装置・AI・IoT・ビッグデータ分析など）にマッチした機能や設備を搭載する必要がある。

□近年電子書籍も市場に展開されているが現状は当図書館では扱えていない。

□個人情報流出などのセキュリティ事故の発生を防止する必要がある。

□受付機能を中心に図書館職員作業中割込みが多い等、システムの利便性向上が望まれる。

□図書館運営費、システム維持費を含めた経費を減少させる必要がある。

4.募集（提案）の目的

以上の背景、現状の課題・問題点を踏まえ、運営効果と効率を向上させる新Z市図書館システムに刷新する提案を募集する。

5.ゴール

提案書提出期限：2021年3月末日

2022年4月第一営業日～稼働開始を前提とする。それまでに新システムを開発し、必要な機器類の調達～設置を終え、稼働を開始することを求める。

6.提案依頼内容

提案書に盛り込むことを期待する情報は以下である。

なお、提案に際して他に必要な事項や情報があればそれを追加することを制限しない。

- ・会社組織情報：貴社情報
- ・提案システム概要
- ・システム構成
- ・プロジェクトスケジュール
- ・プロジェクト体制図
- ・

【資料4】 事前ワーク

□資料1～3を参考にして、既存図書館システムの最も重要な「解決すべき課題」を（選択理由を付与して）特定せよ。課題が複数存在する場合は、優先度を付与し、決定要因を明確にせよ。

優先度	既存図書館システムの課題	選択理由・決定要因